

「食べる」ことをめぐる問題 今、知っておきたい偏食・摂食障害・ 摂食嚥下障害への対処法

高増哲也

神奈川県立こども医療センター地域保健推進部

「食べる」ことは日常生活の一部であり、健康の土台となる活動です。ところが近年、子どもが食
べることにについて、多分野から問題が発生していることがクローズアップされています。そこで本
特集では、まず「食べる」ことをめぐる問題について概説し、食べられない子どもへの対応につい
て、行動・発達面から、精神・心理面から、摂食・嚥下機能面から、それぞれ解説していただくこ
ととしました。

食をめぐる問題については、まずその生物学的な意味から振り返り、食べることは人権である
という視点、その法律上の位置づけを確認し、子育てという切り口からの支援について、成長・発達
を支える栄養面からみた食と低栄養・過栄養の問題について、貧困と子ども食堂の調査について論
じています。

食べられない子どもへの対応について、まず行動・発達面では、おもに神経発達症にみられる偏
食を取り上げています。白米しか食べない、ポテトしか食べない、といった極端な食べ方となっ
ている場合もしばしばみられ、対応に苦慮する場面が多くなっています。各方面からのエキスパート
にその対応法について論じていただきました。

次に精神・心理面からとして、摂食障害を取り上げました。極度の栄養障害に陥る場合があり、
現状としては対応法に決め手がないといわざるをえませんが、現時点での知識を整理して紹介した
きました。まず診断と病態について解説し、治療の現況と今後の展望を紹介し、さらにこの分野
を専門としている管理栄養士による栄養指導について、そして家族支援について論じていただきま
した。

さらに、機能障害により食べることが困難な子どもへの対応について取り上げました。そのため
にはまず食べる機能の正常な発達についての理解が必要となります。そのうえで障害がある場合に
はまずその原因を把握し、適切な対処法にたどり着く必要があります。この分野については小児科
医師が学ぶ機会が十分にあるとはいえないため、教材を具体的に紹介していただきました。さらに
重症心身障害児者の食支援について紹介し、さらにデイサービスでの食育の実際についても紹介し
ていただきました。

食べることに問題を抱えている子どもは少なくなく、抱えている問題は多方面にわたっていま
す。問題がどこにあるかを的確に見極め、対応をすすめる必要があります。本特集が理解を深めて
適切な対応法にたどり着くための一助となることを願っています。